

## 別紙

### 温室効果ガス削減計画

#### 1 事業の概要

(1) 事業所の名称

リョービミツギ株式会社

(2) 事業所の所在地

広島県尾道市御調町高尾200番地

(3) 業種

2353 アルミニウム・同合金ダイカスト製造業

(4) 事業所位置図

別紙のとおり

#### 2 計画の期間

本計画の期間は、平成15（2003）年度を基準とする令和2（2020）年度から令和6（2024）年度までの5年間とする。

#### 3 計画の基本的な方向

リョービのグループ会社であるリョービミツギは、以下の「リョービグループ環境方針」の下に活動しています。

「リョービグループ環境方針」

リョービグループは、経営環境を取り巻く様々なリスクの回避・低減を図り、事業活動から生じる環境負荷を低減するための取り組みを推進し、持続可能な社会の実現に貢献します。

1. リスク・環境負荷を低減します。

- (1) 業務プロセスで生じるリスクの特定・回避・低減に取り組みます。
  - (2) 製品のライフサイクルの各段階で生じる環境負荷の特定・低減、環境汚染の予防に取り組みます。
  - (3) 省エネルギー・省資源に取り組みます。
  - (4) CO2排出量の削減に取り組みます。
  - (5) 産業廃棄物の減量化・再資源化に取り組みます。
2. 環境に関する法令・条例・協定および利害関係者からの要求事項を順守します。
3. 全構成員に対し、環境に関する教育や啓蒙活動を通じて、環境改善に取り組む意識の向上を図ります。
4. 環境保全活動を通じて、地域社会に貢献します。
5. 上記1～4を達成するために、環境目標を設定し、施策を実行して、その結果に基づく見直しを行い、環境マネジメントシステムの継続的な改善を図ります。
6. この環境方針は、全構成員に周知させるとともに、社外にも公開します。

#### 4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

##### 【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	
	基準年度 平成15(2003)年度	直近年度 令和元(2019)年度
二酸化炭素	12,047	5,958

##### 【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	
	基準年度 平成 年度	直近年度 平成 年度
二酸化炭素	/	

##### 【その他温室効果ガス】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	
	基準年度 平成 年度	直近年度 平成 年度
メタン	/	
一酸化二窒素	/	
その他 温室効果 ガス ( HFC PFC SF <sub>6</sub> NF <sub>3</sub> )	/	

## 5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO<sub>2</sub>)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 年度)	削減目標		目標年度 (平成 年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO <sub>2</sub>				
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>				
メタン				
一酸化二窒素				
フロン類				
温室効果ガス 実排出量総計				
温室効果ガス みなし排出量				
目標設定の考え方				

※ 削減率(b) = (c) / (a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：生産量 (t)

単位：排出量(t-CO<sub>2</sub>)，原単位量(kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成15 (2003) 年度)			原単位 削減目標	目標年度 (令和6 (2024) 年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	12,047	5,770	2.09	30	7,300	5,000	1.46
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
総排出量	12,047	5,770	2.09	30	7,300	5,000	1.46
エネルギー消費原単位 (原油換算k1)							
目標設定の考え方							

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

## 6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

### ○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	電気使用量の削減	○電気の原単位を13%削減	○冷暖房温度の適正管理 ○休憩時間の消灯の徹底 ○コンプレッサー電力節減 ○パソコン電力節減 離席時ディスプレイ電源OFF  省エネルギー中長期計画の実施 ○電動成型機導入 ○水銀灯をLVD・LEDに交換  その他 CO <sub>2</sub> 排出削減及び、省エネ関連資料 配付・掲示による、従業員の意識向上 を図る。
2			
3			
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

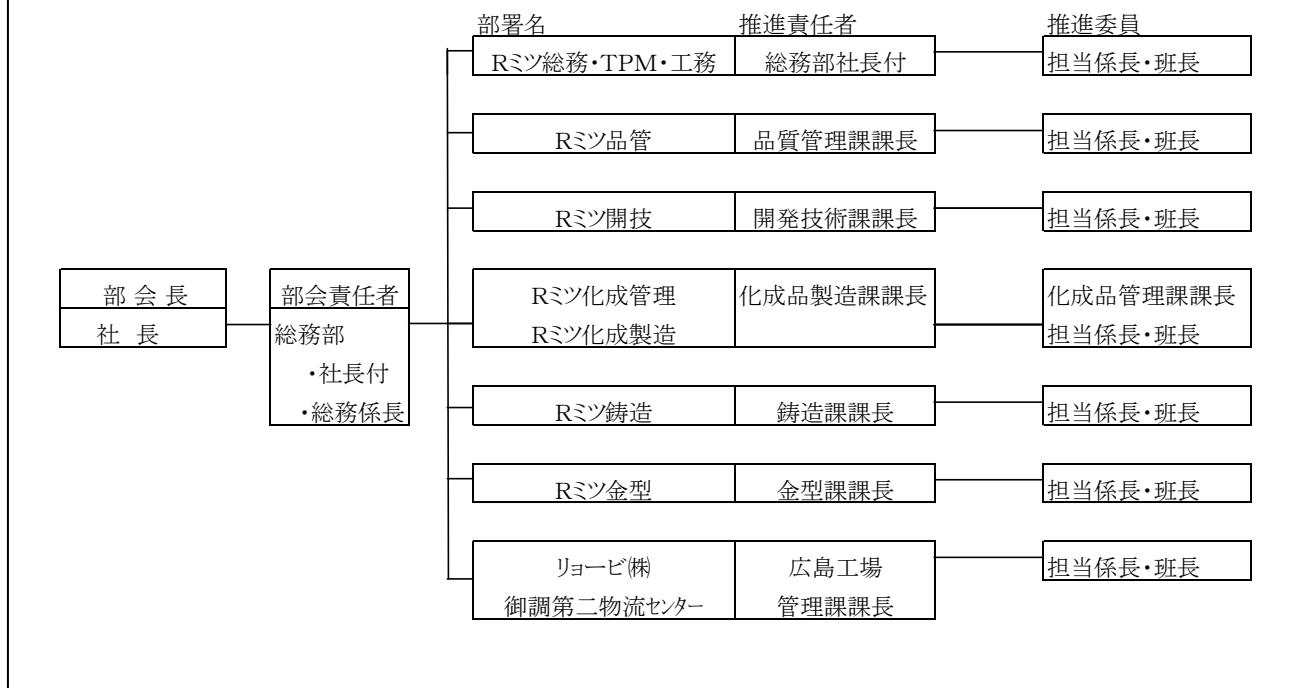
### ○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

### ○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	廃棄物の削減	リサイクル率を95%以上	○分別収集及び資源化の徹底
2	リサイクル率の向上	リサイクル率を95%以上	○廃棄物のリサイクル材料化実施
3	その他		○年2回会社周辺クリーン作戦実施 ○毎月アルミ缶回収実施

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。



## (2) 実施状況の点検・評価

リョービ環境保全委員会の中のリョービミツギ部会として、ISO14001環境マネジメントシステムの活動の中で、省エネルギーの項目としてCO2削減を含めた目標を計画し、実施状況の把握・問題点の検討を行い、定期的に評価・見直し継続的な向上を図る。

## (3) 計画書等の公表

リョービ環境保全委員会として、毎年、環境報告書作成し掲載している。